

平成 28 年度第 2 回一関市まち・ひと・しごと創生有識者会議

日 時 平成 28 年 11 月 28 日（月） 13 時 30 分～15 時
場 所 一関市役所 2 階大会議室 A

次 第

1 開 会

2 協 議

- (1) 総合戦略基本目標及び重要業績評価指標の平成 27 年度末時点の状況について
- (2) 平成 29 年度以降に取り組む事業について

3 そ の 他

4 閉 会

平成28年度第2回一関市まち・ひと・しごと創生有識者会議 出席者名簿

【委員】

団体名	職名	氏名	備考
岩手県南広域振興局	経営企画部企画推進課 ふるさと振興支援特命課長	千田 志保	
いわて平泉農業協同組合	代表理事専務	伊藤 龍治	
ニッコー・ファインメック(株)	代表取締役社長	小野寺 真澄	
		河合 純子	副座長
東日本旅客鉄道	一ノ関駅助役	熊谷 由美子	(欠席)
一関信用金庫	常務理事	佐々木 吉幸	
一関商工会議所	商業部会長	佐藤 馨	
岩手日日新聞社	総務局総務部	佐藤 進	(欠席)
一関商工会議所	女性会会長	佐藤 善子	
一関工業高等専門学校	校長	柴田 尚志	(欠席)
一関市男女共同参画プラン策定懇話会	委員	鈴木 里美	(欠席)
一関市子ども・子育て会議	委員	滝上 亜寿香	
岩手県立大学	地域連携室特任准教授	千葉 実	座長
一関公共職業安定所	所長	加藤 慶一	(欠席)
連合岩手一関地域協議会	事務局長	野村 勉	
岩手銀行	一関支店支店長	小家 文彦	
修紅短期大学	講師	渡邊 美紀子	

【市出席者】

政策企画課長	佐藤 正幸	
政策企画課主幹	藤島 修	
政策企画課政策企画係長	宍戸 勝幸	

平成 27 年国勢調査人口等基本集計結果（概要）について

平成 28 年 10 月 26 日に総務省統計局から公表された平成 27 年国勢調査の人口・世帯に関する人口等基本集計結果（確定値）の一関市分の概要については以下のとおりであった。

1 総人口（表 1 参照）

- 平成 27 年 10 月 1 日現在の一関市の人口は 121,583 人で、前回調査の平成 22 年に比べ 6,059 人、4.7%減少している。
- 減少数は県内市町村で最も多かった。
減少率では県内 33 市町村のうち 22 位となっている。
- 「一関市人口ビジョン」による平成 27 年 10 月 1 日現在の推計人口は 120,110 人（平成 22 年国勢調査から 7,532 人減少）であり、国勢調査人口のほうが 1,473 人多かった。

2 年齢 3 区分別人口（表 2 参照）

- 平成 22 年国勢調査から老年人口（65 歳以上）のみ増加し、年少人口（15 歳未満）と生産年齢人口（15～64 歳）は減少した。
なお、構成比は、年少人口で 1.1 ポイント低下、生産年齢人口で 2.0 ポイント低下、老年人口で 3.1 ポイント上昇している。
- 県内 33 市町村のうち年齢 3 区分別人口の構成比が高い順にみると、年少人口で 12 位、生産年齢人口で 15 位、老年人口で 23 位となっている。
- 「一関市人口ビジョン」による年齢 3 区分別人口構成比と比べると、年少人口が 0.3 ポイント低く、生産年齢人口が 0.3 ポイント高くなっている。

	平成 22 年国勢調査	平成 27 年国勢調査	人口ビジョン
総人口	127,642	121,583	120,110
年少人口（15 歳未満）	15,840(12.4%)	13,750(11.3%)	13,887(11.6%)
生産年齢人口（15～64 歳）	72,936(57.3%)	67,024(55.3%)	66,103(55.0%)
老年人口（65 歳以上）	38,622(30.3%)	40,468(33.4%)	40,121(33.4%)

※構成比は年齢不詳を除いて算出

◆表1 市町村別人口増減数・率（平成22年比：増減の大きい順）

《増加市町》

順位	町村名	増加数順		町村名	増加率順	
		増加数	増加率		増加率	増加数
①	滝 沢 市	1,606	3.0	滝 沢 市	3.0	1,606
②	矢 巾 町	473	1.7	矢 巾 町	1.7	473
③	北 上 市	373	0.4	北 上 市	0.4	373

《減少市町村》

順位	市町村名	減少数順		市町村名	減少率順	
		減少数	減少率		減少率	減少数
①	一 関 市	△ 6,059	△ 4.7	大 槌 町	△ 23.0	△ 3,517
②	奥 州 市	△ 5,324	△ 4.3	陸 前 高 田 市	△ 15.2	△ 3,542
③	花 巻 市	△ 3,736	△ 3.7	山 田 町	△ 15.0	△ 2,791
④	陸 前 高 田 市	△ 3,542	△ 15.2	葛 巻 町	△ 13.1	△ 960
⑤	大 槌 町	△ 3,517	△ 23.0	西 和 賀 町	△ 10.9	△ 722
⑥	山 田 町	△ 2,791	△ 15.0	野 田 村	△ 10.4	△ 483
⑦	釜 石 市	△ 2,772	△ 7.0	九 戸 村	△ 9.9	△ 642
⑧	宮 古 市	△ 2,754	△ 4.6	田 野 畑 村	△ 9.8	△ 377
⑨	大 船 渡 市	△ 2,679	△ 6.6	普 代 村	△ 9.5	△ 293
⑩	八 幡 平 市	△ 2,325	△ 8.1	一 戸 町	△ 8.9	△ 1,268
⑪	二 戸 市	△ 2,091	△ 7.0	岩 泉 町	△ 8.9	△ 963
⑫	岩 手 町	△ 1,292	△ 8.6	岩 手 町	△ 8.6	△ 1,292
⑬	遠 野 市	△ 1,269	△ 4.3	軽 米 町	△ 8.6	△ 876
⑭	一 戸 町	△ 1,268	△ 8.9	八 幡 平 市	△ 8.1	△ 2,325
⑮	久 慈 市	△ 1,230	△ 3.3	住 田 町	△ 7.6	△ 470
⑯	洋 野 町	△ 1,220	△ 6.8	二 戸 市	△ 7.0	△ 2,091
⑰	雫 石 町	△ 1,052	△ 5.8	釜 石 市	△ 7.0	△ 2,772
⑱	岩 泉 町	△ 963	△ 8.9	洋 野 町	△ 6.8	△ 1,220
⑲	葛 巻 町	△ 960	△ 13.1	大 船 渡 市	△ 6.6	△ 2,679
⑳	軽 米 町	△ 876	△ 8.6	雫 石 町	△ 5.8	△ 1,052
㉑	西 和 賀 町	△ 722	△ 10.9	平 泉 町	△ 5.7	△ 477
㉒	盛 岡 市	△ 717	△ 0.2	一 関 市	△ 4.7	△ 6,059
㉓	紫 波 町	△ 674	△ 2.0	宮 古 市	△ 4.6	△ 2,754
㉔	九 戸 村	△ 642	△ 9.9	遠 野 市	△ 4.3	△ 1,269
㉕	野 田 村	△ 483	△ 10.4	奥 州 市	△ 4.3	△ 5,324
㉖	平 泉 町	△ 477	△ 5.7	花 巻 市	△ 3.7	△ 3,736
㉗	住 田 町	△ 470	△ 7.6	久 慈 市	△ 3.3	△ 1,230
㉘	金 ヶ 崎 町	△ 430	△ 2.6	金 ヶ 崎 町	△ 2.6	△ 430
㉙	田 野 畑 村	△ 377	△ 9.8	紫 波 町	△ 2.0	△ 674
㉚	普 代 村	△ 293	△ 9.5	盛 岡 市	△ 0.2	△ 717

表2 市町村別 年齢（3区分）別人口構成率

	年少人口 (0～14歳)		生産年齢人口 (15～64歳)		老年人口 (65歳以上)		うち75歳以上		うち85歳以上	
	人口	割合 (%)	人口	割合 (%)	人口	割合 (%)	人口	割合 (%)	人口	割合 (%)
県	150,992	11.9	734,886	57.8	386,573	30.4	207,419	16.3	66,066	5.2
盛岡市	36,828	12.5	182,979	62.3	73,729	25.1	36,782	12.5	11,285	3.8
宮古市	6,060	10.7	31,218	55.3	19,167	34.0	10,170	18.0	3,160	5.6
大船渡市	4,014	10.6	20,921	55.3	12,906	34.1	6,875	18.2	2,153	5.7
花巻市	11,622	11.9	54,618	56.0	31,259	32.1	16,842	17.3	5,450	5.6
北上市	12,780	13.8	56,581	60.9	23,546	25.3	12,151	13.1	3,820	4.1
久慈市	4,505	12.7	20,544	57.7	10,527	29.6	5,710	16.1	1,763	5.0
遠野市	3,000	10.7	14,533	51.9	10,471	37.4	6,201	22.1	2,002	7.1
一関市	13,750	11.3	67,024	55.3	40,468	33.4	23,053	19.0	8,004	6.6
陸前高田市	1,951	9.9	10,472	53.3	7,230	36.8	4,012	20.4	1,346	6.8
釜石市	3,649	9.9	19,994	54.5	13,044	35.6	7,153	19.5	2,095	5.7
二戸市	3,131	11.4	15,264	55.4	9,171	33.3	5,089	18.5	1,648	6.0
八幡平市	2,553	9.7	14,267	54.1	9,528	36.2	5,548	21.1	1,803	6.8
奥州市	14,400	12.1	66,315	55.6	38,526	32.3	21,546	18.1	6,997	5.9
滝沢市	7,970	14.5	35,312	64.0	11,858	21.5	5,005	9.1	1,510	2.7
雫石町	1,815	10.7	9,467	55.8	5,691	33.5	3,074	18.1	936	5.5
葛巻町	509	8.0	3,136	49.4	2,697	42.5	1,552	24.5	487	7.7
岩手町	1,389	10.1	7,466	54.5	4,832	35.3	2,815	20.6	915	6.7
紫波町	4,141	12.9	18,866	58.7	9,159	28.5	4,508	14.0	1,308	4.1
矢巾町	3,620	13.1	17,453	63.2	6,527	23.6	3,144	11.4	1,059	3.8
西和賀町	459	7.8	2,661	45.3	2,760	46.9	1,764	30.0	647	11.0
金ヶ崎町	2,030	12.8	9,362	58.9	4,500	28.3	2,595	16.3	845	5.3
平泉町	898	11.4	4,222	53.7	2,746	34.9	1,535	19.5	516	6.6
住田町	482	8.4	2,871	50.2	2,365	41.4	1,461	25.6	536	9.4
大槌町	1,193	10.1	6,555	55.8	4,009	34.1	2,052	17.5	579	4.9
山田町	1,655	10.5	8,568	54.1	5,603	35.4	2,820	17.8	799	5.0
岩泉町	946	9.6	4,891	49.7	4,004	40.7	2,358	24.0	693	7.0
田野畑村	385	11.1	1,789	51.6	1,292	37.3	722	20.8	257	7.4
普代村	275	9.8	1,478	52.9	1,042	37.3	611	21.9	207	7.4
軽米町	931	10.0	5,004	53.6	3,398	36.4	1,964	21.0	619	6.6
野田村	434	10.5	2,261	54.5	1,452	35.0	823	19.8	260	6.3
九戸村	625	10.7	2,962	50.5	2,278	38.8	1,293	22.0	415	7.1
洋野町	1,781	10.7	8,953	53.6	5,959	35.7	3,330	19.9	1,009	6.0
一戸町	1,211	9.4	6,879	53.2	4,829	37.4	2,861	22.1	943	7.3

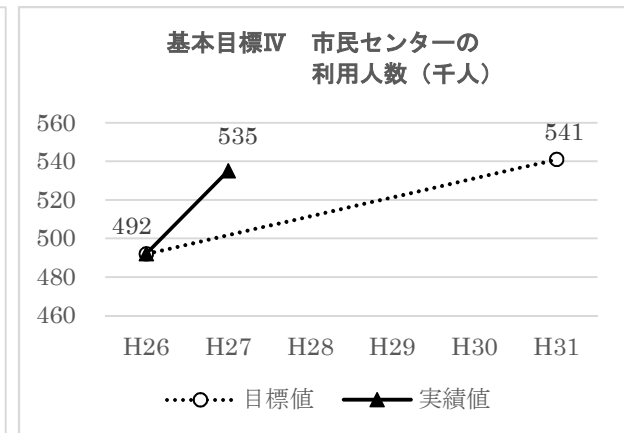
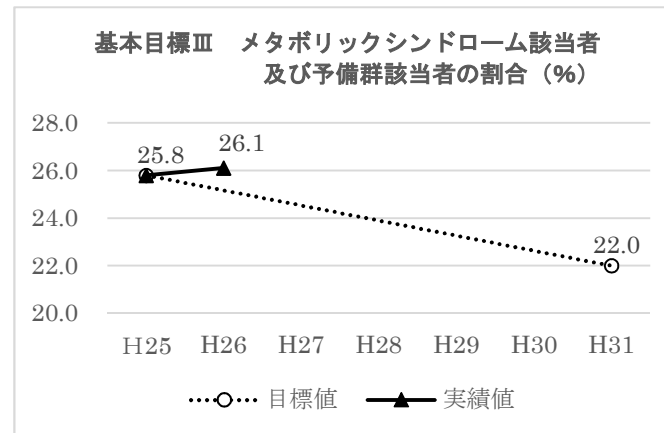
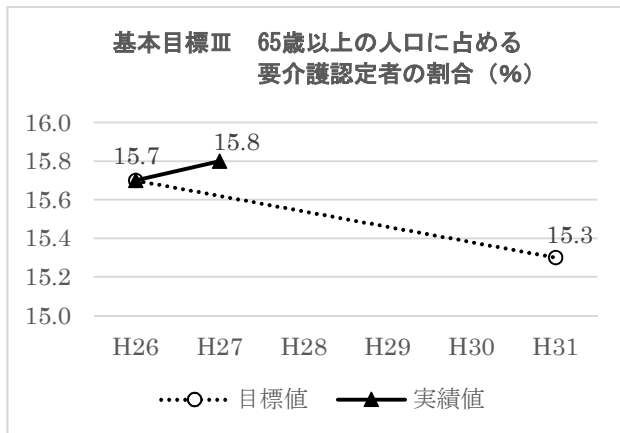
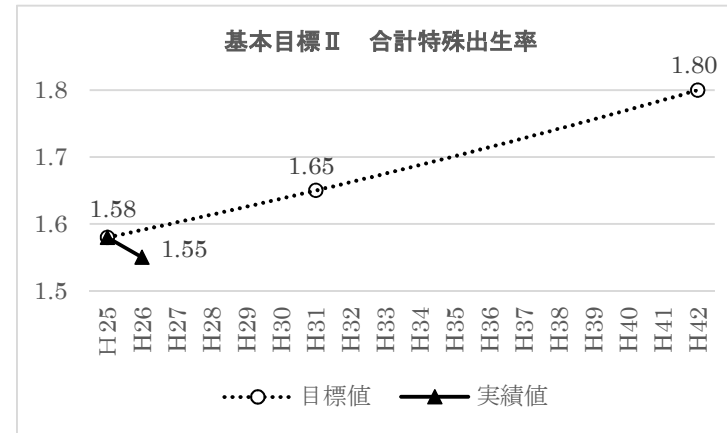
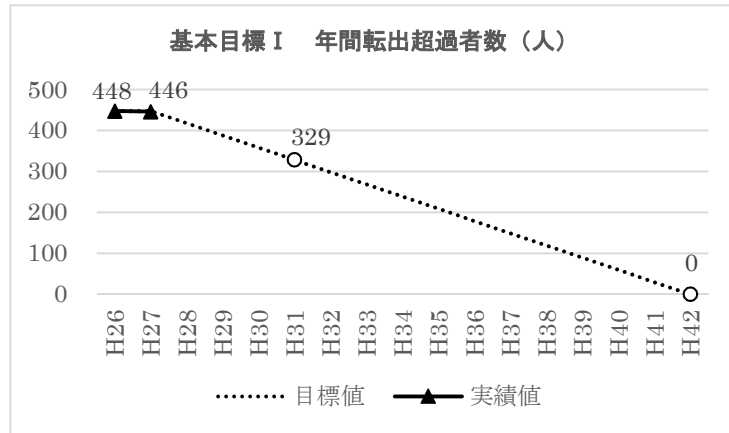
一関市まち・ひと・しごと創生総合戦略 基本目標及び重要業績評価指標の平成 27 年度末の状況

1 基本目標の平成 27 年度末の状況

基本目標	指 標	指標一覧	現状値 (H26)	目標値 (H31)	実績値 (H27)
I 市民が力を発揮できる仕事を創出し、若者や女性が集うまちを目指します	年間転出超過者数 ※	p 1	448 人	329 人	446 人
II 社会全体で子育てを支援し、子育てしやすいまちを目指します	合計特殊出生率	p 5	(H25) 1.58	1.65	(H26) 1.55
III 心豊かに安心して暮らせる、住みたい、住んでよかったまちを目指します	65 歳以上の人口に占める要介護認定者（要介護 1～5）の割合 ※	p 7	15.7%	15.3%	15.8%
	メタボリックシンドローム該当者及び予備群該当者の割合 ※		(H25) 25.8%	22.0%	(H26) 26.1%
IV 未来へ引き継がれる、誇りと愛着が持てるまちを目指します	市民センターの利用人数	p 10	492 千人	541 千人	535 千人

※現状値から減少（低下）することを目指す指標

(参考) 基本目標の目標値に対する平成 27 年度末現在の状況



2 重要業績評価指標の平成 27 年度末の状況

基本目標	施策展開の基本的方向	指標一覧	K P I の 27 年度末目標値に対する達成状況					未把握等*
			A	B	C	D	E	
I	市民が力を発揮できる仕事を創出し、若者や女性が集うまちを目指します		10	2	1	1	3	2
	① 安定した雇用を創出する	p 1～2	7	0	1	1	0	2
	② 新しい人の流れをつくる	p 3～4	3	2	0	0	3	0
II	社会全体で子育てを支援し、子育てしやすいまちを目指します		6	0	1	0	2	0
	① 結婚、出産の希望をかなえる	p 5	3	0	0	0	1	0
	② 安心して子育てを楽しめる環境の形成	p 6	3	0	1	0	1	0
III	心豊かに安心して暮らせる、住みたい、住んでよかったまちを目指します		8	1	1	1	5	2
	① 地域で安全に安心して暮らせる環境の整備、充実	p 7～8	4	1	1	1	1	1
	② 生きがいを持ち健康に暮らせる環境づくり	p 9	4	0	0	0	4	1
IV	未来へ引き継がれる、誇りと愛着が持てるまちを目指します		5	0	0	0	1	1
	① 将来にわたって持続可能なまちづくり	p 10～11	2	0	0	0	1	0
	② 連携と協働によるまちづくり	p 11	3	0	0	0	0	1
計			29 (54.7%)	3 (5.7%)	3 (5.7%)	2 (3.8%)	11 (20.8%)	5 (9.4%)

*未把握等：実績値未確定又は 28 年度から実施する事業の実績等

(1) 目標値に対する各年度の達成率の算出方法

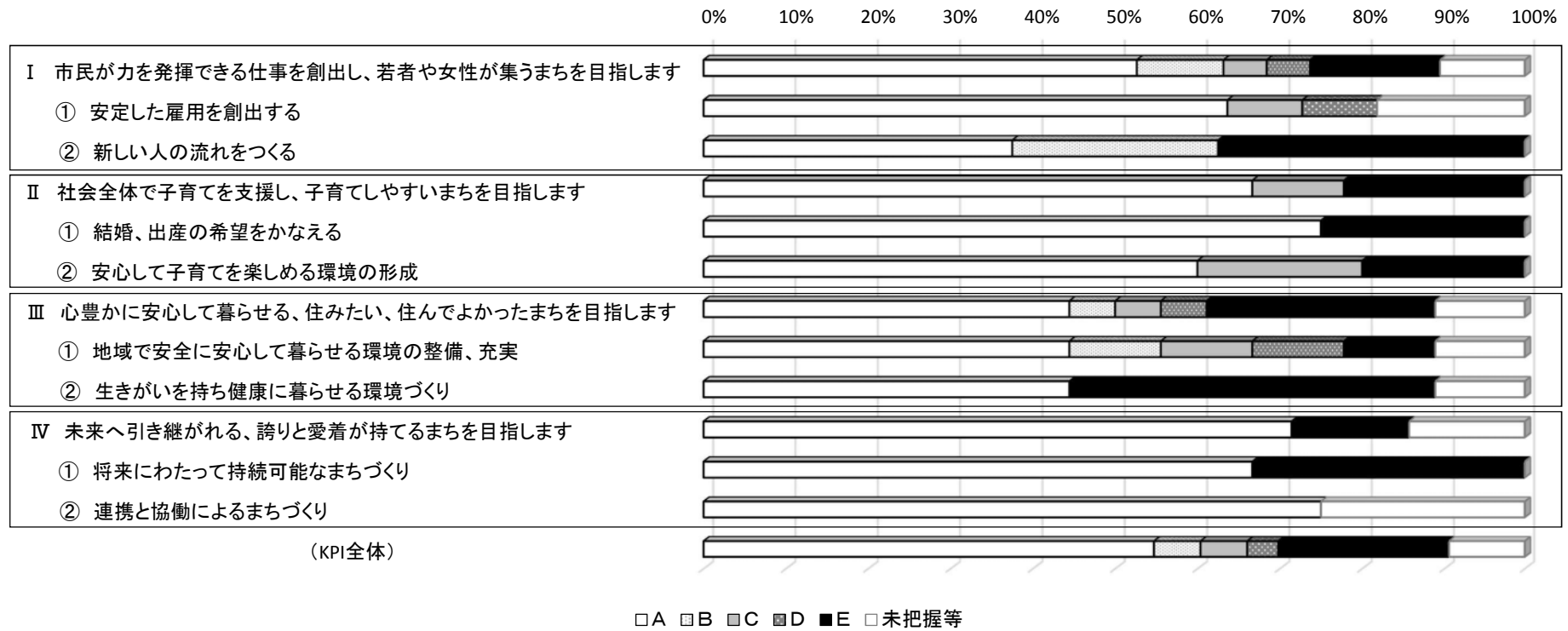
$$\text{達成率（目標比）\%} = \{ \text{H27 年度末実績値} - \text{現状値（H26）} \} \div \{ \text{H27 年度末目標値} - \text{現状値（H26）} \}$$

(2) 達成状況を定量的に判定する評価区分（達成率により、5段階で記載）

A（100%以上）、B（80%以上 100%未満）、C（50%以上 80%未満）、D（0%以上 50%未満）、E（達成率がマイナス（※現状値から悪化）

(参考) 重要業績評価指標の平成 27 年度末目標に対する達成状況

施策展開の基本的方向別 KPI の目標達成状況



一関市まち・ひと・しごと創生総合戦略 基本目標及び重要業績評価指標一覧

基本目標 I

市民が力を発揮できる仕事を創出し、若者や女性が集う街を目指します

数値目標					達成状況		
指標	目標値設定	目標年度	目標値	現状値	H27年度実績値	H27年度実績値に対する評価	今後の取組
年間転出超過者数 ※	転出超過者数を15年かけてゼロにするものとし、5年間で約3割達成する。	H31	329 人	448 人 (H26年度末)	446 人 (H27年)	10～20代で転出超過は減少したものの、40～50代の転出が増加したことなどから横這いとなった。宮城県、県内及び東京圏に対する転出超過が拡大し、宮城県気仙沼市、大船渡市、陸前高田市及び釜石市など沿岸市町村への転出の増加もみられる。また、東京圏に対しては、少子化等に伴い10～20代の転出が減少した一方、全年代で転入も減少している。	引き続き、雇用の場の創出や若者定着の推進等のほか、移住定住の促進に取り組む。

※現状値から減少(低下)することを目指す指標

I-①-1 地場産業の振興

【主な取り組み】

- ▼地域ブランドのPR促進
- ▼新製品、新技術開発の支援
- ▼生産力、生産性の向上による経営力強化支援
- ▼商業、サービス業の振興支援
- ▼インバウンド観光の推進

No.	重要業績評価指標(KPI)	目標年度	目標値	H27年度目標値	現状値(H26)	達成状況				
						H27年度実績値	達成率	達成度	H27年度実績値に対する評価	今後の取組
1	産地直売施設(道の駅)入込客数	H31	1,155 千人/年	1,073 千人/年	1,052 千人/年	1,068 千人/年	76.2%	C	県内外の他の道の駅と連携した集客イベントにも積極的に参加したものの、これらのイベント集客数についても前年度比減となっており、また、独自のイベントを企画・開催し、集客に努めたものの、目標値に達するまで入込客数には至らなかった。	震災以降、毎年前年度比増となっている。引き続き、集客効果があるイベントへの参加支援、独自のイベント企画、開催について継続支援する。
2	研究機関との共同研究数	H31	5 件/年	3 件/年	2 件/年	3 件/年	100.0%	A	共同研究に要する経費の補助や、研究機関と企業のシーズ・ニーズのマッチング支援などにより、共同研究の促進が図られ、目標達成に繋がった。	研究機関のシーズ集の作成及びその周知によるシーズ・ニーズのマッチング、並びに、共同研究事例の紹介、共同研究による製品開発セミナーなどにより企業の共同研究意欲の喚起を図る。
3	製造業の製造品出荷額	H31	2,200 億円/年	2,134 億円/年	2,117 億円/年	億円/年	-	-	※本指標は、工業統計の数値を用いており、平成27年工業統計調査の実績値は、平成29年5月末までに、平成28年経済センサス活動調査の結果として公表予定。	
4	外国人観光入込客数	H31	10,000 人回/年	6,694 人回/年	5,867 人回/年	9,097 人回/年	390.6%	A	旺盛なインバウンド需要に支えられ、震災前の水準を超えた。	目標値の修正を検討したい。

I-①-2 雇用の場の創出

【主な取り組み】

- ▼農業経営体の育成
- ▼企業誘致活動の推進
- ▼起業、創業支援

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H27年度 目標値	現状値 (H26)	達成状況				
						H27年度 実績値	達成率	達成度	H27年度実績値に対する評価	今後の取組
5	農業法人数	H31	81 法人	65 法人	61 法人	65 法人	100.0%	A	法人化が鈍化している中、目標達成できた。	目標達成は簡単ではないと思われるが、目標達成に向けて関係機関で支援していく。
6	6次産業化事業化件数	H31	64 件	56 件	54 件	71 件	850.0%	A	これまでの6次産業化事業や農商工連携の取り組みにより、事業化が進んだ。また、加工組織の実態調査をした結果、目標値を大幅に上回った。	既存組織に対して経営等のアドバイスをを行うとともに、新規参入を考えている団体等への支援を図る。
7	誘致企業数(18年度からの累計)	H31	31 社	23 社	21 社	21 社	0.0%	D	企業訪問、物件視察対応等により誘致折衝を行ったほか、展示会出展など多様な誘致活動を展開し、立地環境等の情報発信に努めたものの、年度内の誘致には至らず、目標未達となった。	立地を検討中である企業と継続して折衝を行い、早期立地を達成するとともに、今後も関係機関等と連携して多様な誘致活動を展開し、産業の集積を図る。
8	製造業事業所数(従業員4人以上)	H31	280 事業所	258 事業所	253 事業所	事業所	-	-	※本指標は、工業統計の数値を用いており、平成27年工業統計調査の実績値は、平成29年5月末までに、平成28年経済センサス活動調査の結果として公表予定。	

I-①-3 人材の育成

【主な取り組み】

- ▼農業の担い手の育成
- ▼地域企業が行う人材育成への支援
- ▼キャリア教育の推進
- ▼外国語教育の推進
- ▼ことばの力を育てる教育の推進
- ▼郷土愛を育む教育の推進

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H27年度 目標値	現状値 (H26)	達成状況				
						H27年度 実績値	達成率	達成度	H27年度実績値に対する評価	今後の取組
9	新規学卒者就農数(累計)	H31	49 人	37 人	34 人	37 人	100.0%	A	JAでの雇用研修を受けた者が、平成28年度からの新規就農につながり、目標を達成することができた。	県・JA等の関係機関と連携し、研修者の確保を図っていく。
10	品質管理検定合格者数(累計)	H31	1,028 人	668 人	541 人	668 人	100.0%	A	企業訪問やHP等により市内実施の周知を図り、また、資格取得を支援するための講座を毎年実施したことで目標達成に繋がった。	ものづくりにおける品質の向上を図るため、市内実施と資格取得講座を継続実施する。

11	「ことばの先人」の学習に取り組んだ学校の割合	H31	100.0 %	55.9 %	41.2 %	57.6 %	111.6%	A	学習活動に教育施設（一関博物館、石と賢治のミュージアム、芦東山記念館）を積極的に活用した。また、平成27年度から、ことばの先人出前講座を開設するなど、取組の幅を広げることができた。	教育振興基本計画の重点プロジェクトにことばの力を育てる教育を位置付け、ことばと読書、ことばの響き、ことばの先人の3本柱として事業推進する。ことばの先人出前講座の活用など、これまでの取組も継続的に推進する。
----	------------------------	-----	---------	--------	--------	--------	--------	----------	--	--

I-②-1 若者定着の推進

【主な取り組み】

- ▼地元企業への理解増進
- ▼地元企業への就職活動支援、移住就労支援
- ▼農業の担い手の確保、育成
- ▼働きやすい職場づくりの啓発
- ▼高等教育機関の充実

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H27年度 目標値	現状値 (H26)	達成状況				
						H27年度 実績値	達成率	達成度	H27年度実績値に対する評価	今後の取組
12	新規就農者数(累計)	H31	473 人	393 人	373 人	390 人	85.0%	B	農業を取り巻く情勢が見通せず、新規就農希望者の申込みが低迷している状況であり、目標達成に至らなかった。	各種支援制度の活用により、新規就農者の確保を図っていく。
13	新規学卒者の管内就職率	H31	60.0 %	53.4 %	51.8 %	50.9 %	-56.2%	E	関係機関との連携や各種施策の実施により50%以上が地元定着につながっているが、約40%は県外就職という状況であり、目標値には達しなかった。	教諭、保護者を含め、地元企業の理解を深める取り組みなど、目標数値達成に向け、今後も各種施策の実施及び関係機関との連携を図っていく。

I-②-2 移住定住の促進

【主な取り組み】

- ▼移住者への経済的支援
- ▼相談窓口の強化
- ▼就農支援
- ▼人材不足への対処
- ▼政府関係機関の移転誘致

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H27年度 目標値	現状値 (H26)	達成状況				
						H27年度 実績値	達成率	達成度	H27年度実績値に対する評価	今後の取組
14	転入者数	H31	2,780 人/年	2,714 人/年	2,697 人/年	2,687 人/年	-58.8%	E	移住定住補助の利用は増えているが、転入者数の全体を底上げするまでには至っていない。	補助を利用する転入者は5%程度。市全体のイメージを向上し転入者増を図る。
15	空き家バンクの新規登録件数	H31	20 件/年	10 件/年	8 件/年	17 件/年	450.0%	A	制度の周知が図られ、順調な伸びが見られた。	空家は今後も増えることが見込まれるので、空き家バンク等により効果的な活用を図っていく。

I-②-3 交流人口の拡大

- 【主な取り組み】
- ▼観光資源の整備、活用
 - ▼二次観光の充実
 - ▼中心商店街の空き店舗対策
 - ▼一ノ関駅周辺の賑わい創出
 - ▼都市間交流の促進
 - ▼来訪機会の拡大

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H27年度 目標値	現状値 (H26)	達成状況				
						H27年度 実績値	達成率	達成度	H27年度実績値に対する評価	今後の取組
16	観光入込客数	H31	2,300 千人回/年	2,141 千人回/年	2,101 千人回/年	2,204 千人回/年	257.5%	A	ホームページやフェイスブック等において迅速かつ積極的な情報発信を行ったことにより目標を達成した。	引き続き情報発信の充実や受け入れ態勢の整備に努めていく。
17	商店街空き店舗率 ※	H31	23.2 %	25.3 %	25.8 %	25.4 %	80.0%	B	空き店舗入居支援助成制度による入居に際しての直接支援と商店街にぎわい創出事業補助金及び商店街活性化補助金による商店街のにぎわい創出により空き店舗解消に努めたが、経営不振や後継者不足などによる閉店があり、空き店舗率は概ね現状維持となった。	従来からの空き店舗入居支援助成制度等に加えて、平成26年度からの創業支援事業計画により商店街での新規創業も併せて空き店舗解消に努める。
18	市内で開催されるスポーツ大会の参加者数	H31	20,000 人/年	18,342 人/年	17,928 人/年	22,836 人/年	1185.5%	A	国体のリハーサル大会(4件)や東北高専大会などにより増加した。	今後も種目別競技協会等と連携し大会の誘致を図っていく。

※現状値から減少(低下)することを目指す指標

I-②-4 地域の魅力増進や知名度の向上

- 【主な取り組み】
- ▼効果的な情報発信
 - ▼体験、交流事業

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H27年度 目標値	現状値 (H26)	達成状況				
						H27年度 実績値	達成率	達成度	H27年度実績値に対する評価	今後の取組
19	市の公式ホームページのアクセス数	H31	2,280 千件/年	2,205 千件/年	2,186 千件/年	2,012 千件/年	-915.8%	E	トップページのリニューアルを行うなど、閲覧しやすいホームページの提供に努めたが、フェイスブックなど情報発信手段の多様化などにより、若干減少したと考えられる。	引き続き、検索しやすいHPを目指し、情報の更新を徹底していく。

基本目標Ⅱ

社会全体で子育てを支援し、次代の担い手を応援するまちを目指します

数値目標					達成状況		
指標	目標値設定	目標年度	目標値	現状値	H27年度実績値	H27年度実績値に対する評価	今後の取組
合計特殊出生率	出生率を15年かけて1.8まで向上させるものとし、5年間で約3割達成する。	H31	1.65	1.58 (H25年)	1.55 (H26年)	H26実績はH25を下回り、全国及び県内と同様の傾向となっているが、20代から30代前半にかけて出産数が減少しており、第2子以降の出生数の減少が大きくなっている。	引き続き、結婚、妊娠、出産等の各分野が点ではなく線につながるよう、一連の施策をさらに推進し、切れ目のない支援に取り組む。

Ⅱ-①-1 結婚支援

【主な取り組み】

- ▼結婚情報サービスの提供
- ▼婚活支援イベントや結婚相談の実施
- ▼ライフデザイン(結婚～出産～子育て)の構築支援

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H27年度目標値	現状値 (H26)	達成状況				
						H27年度実績値	達成率	達成度	H27年度実績値に対する評価	今後の取組
20	結婚祝金交付件数	H31	5 件/年	2 件/年	1 件/年	3 件/年	200.0%	A	H26年度に成婚した3組に対する祝金を交付したものの。	今後も成婚につながるよう、結婚相談会や婚活イベント等を開催し、引き続き結婚希望者を支援していく。
21	いちのせき結婚活動サポートセンターの会員登録数	H31	500 人	359 人	324 人	530 人	588.6%	A	イベント参加者の会員登録や事業チラシの回覧などにより会員登録数が増加した。	増加した会員者数に応じて婚活イベントを計画するなど、会員のニーズを把握しながら事業展開し活動していく。

Ⅱ-①-2 妊娠、出産への支援

【主な取り組み】

- ▼妊娠、出産の相談、支援体制
- ▼妊娠、出産の経済的支援

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H27年度目標値	現状値 (H26)	達成状況				
						H27年度実績値	達成率	達成度	H27年度実績値に対する評価	今後の取組
22	特定不妊治療を受けている方への助成実績(延べ人数)	H31	69 人	67 人	66 人	77 人	1100.0%	A	助成金を拡充したことにより目標達成につながった。	今後も事業を継続して行う。
23	妊婦健康診査受診率	H31	89.5 %	86.9 %	86.2 %	83.2 %	-428.6%	E	健診を受診するよう指導はしているが、諸事情により期間内に受診できなかった。	妊娠届等の際に期間内に受診するよう指導する。

II-②-1 子育て支援の充実

【主な取り組み】

- ▼子育てに係る経済的支援
- ▼子育て相談、支援環境の充実
- ▼保育の充実

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H27年度 目標値	現状値 (H26)	達成状況				
						H27年度 実績値	達成率	達成度	H27年度実績値に対する評価	今後の取組
24	待機児童数 ※	H31	0 人	32 人	43 人	73 人	-272.7%	E	保育の量を拡大したが、保育のニーズがそれを上回った。「目標値」、「H27年度目標値」、「現状値 (H26)」は4月1日現在の数値であるが、H27実績値は年度末の数値となっている。待機児童数は年度の後半に向け増加する傾向にあり、H27年度目標値を大きく上回る状況となっている。	更なる保育の量を拡大し、平成29年4月の待機児童解消を目指す。
25	子育て相談件数	H31	840 件/年	302 件/年	168 件/年	790 件/年	464.2%	A	発達支援教室等、相談の場の増により目標達成につながった。	発達支援教室の事業を拡大し、相談する機会を広げるなど、支援環境充実に努める。

※現状値から減少(低下)することを目指す指標

II-②-2 教育環境の充実

【主な取り組み】

- ▼教育に係る経済的支援
- ▼ICTの活用等による新たな学びの推進
- ▼緊急時の連絡体制の整備
- ▼高等教育機関等の充実

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H27年度 目標値	現状値 (H26)	達成状況				
						H27年度 実績値	達成率	達成度	H27年度実績値に対する評価	今後の取組
26	情報通信技術を活用して学習指導を行った学校の割合	H31	小学校 69.0% 中学校 58.0%	小学校 65.6% 中学校 51.6%	小学校 64.7% 中学校 50.0%	小学校 66.7% 中学校 52.9%	222.2% 181.3%	A	授業に情報通信技術を活用することにより、分かる授業づくりにつながり、授業改善が図られた。	今後とも授業における情報通信技術の活用を推進するとともに、デジタル教材の充実を図っていく。
27	学校緊急情報相互連絡システム登録率	H31	98.5 %	96.5 %	96.0 %	115.9 %	3980.0%	A	利用が定着し、一家庭で複数の家族が登録するようになった。	引き続き、両親・祖父母等の登録を促し、活用を図っていく。

II-②-3 就労環境の整備

【主な取り組み】

- ▼仕事と子育ての両立支援
- ▼出産、子育てに関する男性の意識啓発

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H27年度 目標値	現状値 (H26)	達成状況				
						H27年度 実績値	達成率	達成度	H27年度実績値に対する評価	今後の取組
28	男女共同参画サポーター認定者数	H31	87 人	71 人	67 人	69 人	50.0%	C	男女共同参画サポーター養成講座の受講者募集について、広報、ホームページ、FMあすも等様々な媒体の利用及び本庁・支所、市民センター等におけるチラシの配架により周知を図ったが、一般市民からの自主的な応募を待つ姿勢であったため、受講者数を増やせなかった。	制度及び養成講座受講者募集について、広報をはじめとする多様な手段及び多くの機会を捉えて周知するほか、各種団体に個別に働きかけを行う。

基本目標Ⅲ

心豊かに安心して暮らせる、住みたい、住んでよかったまちを目指します

数値目標					達成状況		
指標	目標値設定	目標年度	目標値	現状値	H27年度実績値	H27年度実績値に対する評価	今後の取組
65歳以上の人口に占める要介護認定者(要介護1～5)の割合 ※	要介護度の低い要介護1及び2の認定者の割合を減らすことにより、全体の割合を減らす	H31	15.3 %	15.7 % (H26年度末)	15.8 %	後期高齢者の割合の増加により、認定者の割合はわずかに増加した。	介護予防に資する通いの場づくりに取り組む。
メタボリックシンドローム該当者及び予備群該当者の割合 ※	一関保健事業実施計画における目標値を達成し、維持する。	H31	22.0 %	25.8 % (H25年度末)	26.1 % (H26年度末)	目標値は達成できなかったが、平成27年度の特定保健指導の終了者の割合が13.6%と前年度より2%上回ったことから、特定保健指導の効果が期待できる。	特定保健指導該当者に対し、保健指導の受診勧奨を強化し、該当者にはできるだけ保健指導を受けてもらえるよう内容を工夫し実施する。

※現状値から減少(低下)することを目指す指標

Ⅲ-①-1 医療、福祉、介護体制の充実

【主な取り組み】

- ▼医療介護人材の育成、確保
- ▼地域医療機関の充実
- ▼夜間、緊急医療体制の充実

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H27年度目標値	現状値 (H26)	達成状況				
						H27年度実績値	達成率	達成度	H27年度実績値に対する評価	今後の取組
29	医師修学資金貸付利用者数	H31	7 人	3 人	2 人	3 人	100.0%	A	新規利用者の確保に努め、目標を達成することができた。	修学資金制度を周知し、新規利用者の確保に努める。
30	介護担い手育成講座受講者数(累計)	H31	115 人	35 人	15 人	30 人	75.0%	C	開催日や内容を検討し開催したが、募集定員に満たなかった。	内容、対象者等を検討し、今年度も開催予定。
31	介護職員初任者研修奨励金交付者数(累計)	H31	100 人	20 人	-	17 人	85.0%	B	他制度の利用により対象外となった者もあり、事業周知が不足していた。	事業所に対する周知のほか、様々な機会を活用し、事業周知に努める。
32	実務研修奨励金交付者数(累計)	H31	80 人	-	-	- 人		-	※H28年度からの実施 27年度は初任者研修奨励金事業のみ実施	事業所に対する周知のほか、様々な機会を活用し、事業周知に努める。

Ⅲ-①-2 地域生活の支援

- 【主な取り組み】 ▼地域包括ケアシステムの構築
▼生活交通の維持確保

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H27年度 目標値	現状値 (H26)	達成状況				
						H27年度 実績値	達成率	達成度	H27年度実績値に対する評価	今後の取組
33	地域包括支援センターの設置数	H31	9 (か所)	6 (か所)	6 (か所)	6 (か所)	100.0%	A	計画どおりの設置数となっている。	主任介護支援専門員、保健師、社会福祉士の3職種の人材の確保を図りながら、第7期(H30～32)介護保険事業計画において、必要な設置数を見直していく。
34	高齢者見守りネットワーク協力事業所数	H31	50 事業所	32 事業所	32 事業所	32 事業所	100.0%	A	予定していた事業所すべてにおいて協力いただくことができた。	個別に連絡し、協力いただくよう求めていく。
35	市営バスの年間利用者数	H31	195 千人	188 千人	186 千人	183 千人	-150.0%	E	路線別では増加した路線もあったが、全体では利用者数の減少を止められなかった。	平成29年度から市営バスの料金を統一することにより、利用しやすい環境を整備することで利用者の増加を図っていく。

Ⅲ-①-3 暮らしの安全対策

- 【主な取り組み】 ▼災害に強いまちづくりの推進
▼消防防災体制の拡充
▼防犯、交通安全対策の推進

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H27年度 目標値	現状値 (H26)	達成状況				
						H27年度 実績値	達成率	達成度	H27年度実績値に対する評価	今後の取組
36	木造住宅耐震改修工事助成件数(累計)	H31	115 件	95 件	90 件	97 件	140.0%	A	市民へのPR活動(固定資産税納税通知書に耐震についてのチラシを同封、住宅祭時の耐震相談会、ケーブルテレビ・ラジオを通しての周知)を継続して行い、市民の耐震に対する認知度が向上したことが目標達成に繋がったと考えられる。	今後も左記のPR活動を通して、市民への周知と耐震改修の促進に努める。
37	自主防災組織の組織率	H31	100.0 %	92.7 %	90.9 %	91.6 %	38.9%	D	まだ組織化されていない行政区については、高齢化により人材不足などの課題を抱えている地域や、当初より結成に否定的なところである。	リーダーの意識改革が必要であるので、未結成行政区のリーダーへ対する防災教育などを実施していく。

Ⅲ-②-1 健康づくりと介護予防の促進
 【主な取り組み】
 ▼健康づくりの推進
 ▼介護予防の充実

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H27年度 目標値	現状値 (H26)	達成状況				
						H27年度 実績値	達成率	達成度	H27年度実績値に対する評価	今後の取組
38	がん検診受診率(市実施分)	H31	胃がん検診 50.0% 子宮がん検診 50.0% 肺がん検診 50.0% 乳がん検診 50.0% 大腸がん検診 50.0%	胃がん検診 28.0% 子宮がん検診 33.4% 肺がん検診 31.0% 乳がん検診 36.5% 大腸がん検診 34.4%	胃がん検診 22.5% 子宮がん検診 29.2% 肺がん検診 26.2% 乳がん検診 33.1% 大腸がん検診 30.5%	胃がん検診 22.4% 子宮がん検診 27.7% 肺がん検診 28.1% 乳がん検診 33.1% 大腸がん検診 29.6%	-1.8% -35.7% 39.6% 0.0% -23.1%	E	7月15日号の広報に全市の検診日程表を折り込みするなど周知に努めたが、目立った受診者の増加につながらなかった。	検診会場での託児サービスや夜間検診など、子育て世代・働き盛り世代にも受診しやすい環境を整える。未受診者への再通知(リコール)や節目年齢の対象者全員に受診票の送付など今後も継続して受診勧奨に取り組む。
39	脳血管疾患による死亡率(人口10万対) ※	H31	男性 156.0人 女性 164.4人	男性 172.0人 女性 183.7人	男性 180.0人 女性 193.3人	男性 192.3人 女性 230.5人	-153.8% -387.5%	E	高齢化率の上昇に伴い、脳血管疾患による死亡数も増加している。平成25年度から県の指導により「脱脳卒中」の取り組みを行っているが、目標達成には至らなかった。	今後も関係機関と連携し、先進地の取り組み等を参考に予防活動を実施する。
40	介護予防事業延べ参加者数	H31	54,781 人	33,925 人	33,711 人	35,630 人	896.7%	A	一次予防事業、二次予防事業ともに参加者の増加につながった。	介護保険制度改正により、事業の見直しを含め参加者増に努めていく。
41	介護予防ボランティアリーダー養成者数	H31	80 人	-	-	- 人	-	-	※28年度から実施。(8月頃から事業開始予定)	事業を体系的に整え、実施できるように努める。

※現状値から減少(低下)することを目指す指標

Ⅲ-②-2 いきいきとした生活を送るための環境づくり
 【主な取り組み】
 ▼文化、芸術活動の振興
 ▼スポーツレクリエーション活動の推進
 ▼生涯学習の推進
 ▼高齢者の社会参加の支援

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H27年度 目標値	現状値 (H26)	達成状況				
						H27年度 実績値	達成率	達成度	H27年度実績値に対する評価	今後の取組
42	文化センター利用件数	H31	1,200 件/年	1,132 件/年	1,115 件/年	1,170 件/年	323.5%	A	一関文化センターの中ホール舞台照明設備改修工事による中ホールの利用停止があったものの、利用件数は昨年度を上回った。	施設の老朽化により、引き続き利用制限を伴う改修工事が発生する見込みであるが、今後も一層利用者の増加に繋がるよう、施設運営をしていく。
43	市営スポーツ施設利用者数	H31	1,000 千人/年	928 千人/年	910 千人/年	901.0 千人/年	-50.0%	E	改修工事等で使用中止となった施設があり伸び悩んだ。	市民等が健康を維持する上で施設を利用しやすい環境づくり、サービスの向上を図っていく。
44	市民センターにおける生涯学習活動利用者数	H31	240 千人/年	235 千人/年	234 千人/年	303 千人/年	6900.0%	A	市民センターで新規の事業を開催したことや、公民館の市民センターへの移行によって市民の生涯学習への関心が高まったことにより、目標値を達成することができた。	今後も市民に対して啓発を行い、生涯学習の推進を図っていく。
45	老人クラブ加入率	H31	22.0 %	22.0 %	22.0 %	21.4 %	-2.6%	E	加齢による退会者の増加や新規加入者が見込めないことによる解散や活動停止などが続いた。	活動内容の周知や勧誘活動の推進による、若手会員の増加と活動の活発化に努める。
46	シニア活動プラザ利用者数	H31	3,223 人/年	2,423 人/年	2,223 人/年	3,482 人/年	629.5%	A	開設して3年目(H25開設)で、施設が認知されたことから、目標値の達成となった。	目標値を下回らないよう、引き続き、主催事業の充実と施設利用に関して効果的なPRに取り組んでいく。

基本目標Ⅳ

未来へ引き継がれる、誇りと愛着が持てるまちを目指します

数値目標					達成状況		
指標	目標値設定	目標年度	目標値	現状値	H27年度実績値	H27年度実績値に対する評価	今後の取組
市民センターの利用人数	H26までの公民館としての利用から、H27以降の市民センターとして5年間で10%増加させる	H31	541 千人	492 千人 (H26年度末)	535 千人	旧小学校体育館(日形、猿沢、津谷川)が市民センターの附属施設となったことや、地域づくり活動の拠点施設として活用されたため、利用者の増につながった。	H28年度より旧介護予防拠点施設(中里、真柴)が市民センターの附属施設となったことや、今後ますます地域づくり活動としての活用が想定されることから、目標値の達成が見込まれる。

Ⅳ-①-1 ILCを基軸としたまちづくり

【主な取り組み】 ▼ILCの普及啓発、情報発信

No.	重要業績評価指標(KPI)	目標年度	目標値	H27年度目標値	現状値(H26)	達成状況				
						H27年度実績値	達成率	達成度	H27年度実績値に対する評価	今後の取組
47	市民や各団体からの要請を受けて行ったILCセミナーの年間開催回数	H31	50 回	39 回	36 回	20 回	-533.3%	E	以前からの市長による講演などにより普及啓発を行ってきたことにより、希望する各団体に一巡したこと、また、ILC誘致に関する大きな進展がみられないことが重なり、市民からの要請が少なかった。	今般、有識者会議や国の動きが大きく進展する見込みであることから、ILCによってもたらされる効果、ILCの意義や価値について知る機会となるセミナーの開催をILCニュースなどにより呼びかけ、開催していきたい。

Ⅳ-①-2 資源・エネルギー循環のまちづくり

【主な取り組み】 ▼再生可能エネルギーの導入

▼廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用の推進

No.	重要業績評価指標(KPI)	目標年度	目標値	H27年度目標値	現状値(H26)	達成状況				
						H27年度実績値	達成率	達成度	H27年度実績値に対する評価	今後の取組
48	リサイクル率(一般廃棄物)	H31	16.6 %	15.6 %	15.4 %	15.6 %	100.0%	A	ごみ問題対策巡視員などの地域での取り組みに加え、ごみ分別説明会や全地域での古着・小型家電回収の実施などにより目標を達成した。 (※H27年度実績値は速報値)	分別の徹底などにより、可燃物ではなく資源物としての排出を誘導し、リサイクル率のさらなる向上を目指す。

※速報値

IV-①-3 東日本大震災からの復旧復興

【主な取り組み】 ▼農林業の生産基盤の再生

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H27年度 目標値	現状値 (H26)	達成状況				
						H27年度 実績値	達成率	達成度	H27年度実績値に対する評価	今後の取組
49	原木しいたけの年間生産量	H31	9,860 kg	4,166 kg	2,742 kg	6,431 kg	259.1%	A	出荷制限解除が進んだことから生産量が増えたもの。	出荷制限解除及び原木導入が進む見込みであることから、目標達成を目指す。

IV-②-1 地域コミュニティ活動の活性化

【主な取り組み】 ▼協働によるまちづくりの推進

▼コミュニティ意識の向上

▼コミュニティ活動の充実

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H27年度 目標値	現状値 (H26)	達成状況				
						H27年度 実績値	達成率	達成度	H27年度実績値に対する評価	今後の取組
50	地域協働体設立数(市登録数)	H31	34 団体	29 団体	18 団体	30 団体	109.1%	A	各地域において地域協働の気運が高まりを見せ、協働体の設立が進んでいる。	未設立の地域に対して継続して支援していく。
51	地域づくり計画を策定した地域協働体数	H31	34 団体	14 団体	2 団体	15 団体	108.3%	A	地域協働体の設立が進んだことから、地域づくり計画の策定も順調に推移してきた。	未策定の地域協働体に対して継続して支援していく。

IV-②-2 地域間の連携

【主な取り組み】 ▼広域連携の推進

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H27年度 目標値	現状値 (H26)	達成状況				
						H27年度 実績値	達成率	達成度	H27年度実績値に対する評価	今後の取組
52	広域連携事業数(定住自立圏共生ビジョン掲載事業)	H31	28 事業	24 事業	23 事業	29 事業	600.0%	A	DMOや地元就業定着支援などの産業振興及びび学会等誘致による支援事業などについて、新たな広域連携事業として取り組むこととし、目標を上回った。	今後とも、定住自立圏共生ビジョン懇談会での意見等を踏まえて見直しを行っていくこととしている。

IV-②-3 行政機能の効率化

【主な取り組み】 ▼業務改革の推進

▼人材育成の推進と組織体制の見直し

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H27年度 目標値	現状値 (H26)	達成状況				
						H27年度 実績値	達成率	達成度	H27年度実績値に対する評価	今後の取組
53	行財政改革による財政効果額	H31	1,036 百万円	(1,415) 百万円	-	(1,680) 百万円	-	-	第2次集中改革プラン(～H27)による、事務事業の再編整理や補助金等の整理合理化の取り組み等により、目標を上回る効果があった。	第3次集中改革プラン(H28～)の取組等を通じ、継続的に行財政改革を推進する。

※参考値

※参考値

平成29年度以降に取り組む事業(案)
～総合計画実施計画(H29・30・31年度)策定に係る新規事業要求～

【総合戦略】

No.	総合戦略		事業名称	事業概要
	施策展開の方向性			
1	I-①-1 地場産業の振興	IV-②-2 地域間の連携	一関・平泉版DMOによる地域づくり事業	平成30年1月の一関市及び平泉町を対象区域とする日本版DMOの設立に向け、設立準備会による準備を進めるとともに、一関・平泉地域DMOの事業内容を広く市民に知ってもらうため、DMO設立記念シンポジウムを開催する。
2	I-①-1 地場産業の振興		農地等有効活用調査事業	農地所有世帯へ農地1筆ごとに権利等、利用状況、農地利用に関する意向について確認調査を実施する。
3	I-①-3 人材の育成		ものづくり産業振興事業	人材の育成の支援として、「品質工学」「MOT」「原価管理」講座を開催する。
4	I-②-2 移住定住の推進		移住定住環境整備事業(情報発信分)	移住希望者に向けた情報発信のため、移住定住パンフレットの更新、スマートフォンやタブレット端末に対応したホームページの改修を行う。
5	I-②-3 交流人口の拡大		全国ハーブサミット一関大会開催負担金	ハーブの個性と特色を生かした魅力あるまちづくりを推進することを目的として一関市で開催される「全国ハーブサミット・ハーブフェスティバル」の運営を行う実行委員会に対し負担金を交付する。
6	I-②-3 交流人口の拡大		もち食による一関ブランド構築支援業務	一関地方の伝統ある「もち食文化」をテーマとした観光振興と「もち」のブランド化、産業化を図るため、市民の意識醸成及びもち食推進会議の活動の支援を行う。
7	I-②-3 交流人口の拡大	I-②-4 地域の魅力増進 や知名度の向上	和算でめぐる城下町	「和算」のまち一関を多くの人に知ってもらうため、親子などを対象とし、旧沼田家武家住宅を起点に各地点に準備した和算の問題やクイズを解きながら中心市街地を巡る。
8	I-②-3 交流人口の拡大		一ノ関駅東口橋上マルシェ開設事業	一ノ関駅東口の橋上通路にマルシェを開設し、地場製品の販売を行い、賑わいの創出を図る。
9	I-②-3 交流人口の拡大		ほびとも交流事業「ほびともを作ろう！」	一関市民センターを会場として、個人の趣味、嗜好について、各回ごとにテーマを設定し、愛好者で交流を踏まえてもらう。
10	II-②-1 子育て支援の充実		保育士等人材バンク登録者研修費補助事業	保育士等人材バンクに登録した者が復職のために必要な研修を受講する際の費用を補助することにより、就労への支援を行い、保育施設における人材確保を図る。

【総合戦略】

平成29年度以降に取り組む事業(案)
 ～総合計画実施計画(H29・30・31年度)策定に係る新規事業要求～

No.	総合戦略		事業名称	事業概要
	施策展開の方向性			
11	Ⅱ-②-1	子育て支援の充実	保育所等入所支援事業	待機児童解消のため、保育施設の情報収集や各種事業の情報提供等を行う「子育てコンシェルジュ」を子育て支援課に配置する。
12	Ⅱ-②-1	子育て支援の充実	発達支援体制整備事業	働きながら子育てをする親の悩みの軽減を図るため、ペアレント・トレーニング土曜日教室を新設する。 また、東地域の就学前発達支援制度(支援教室あそびの教室)の確立を図る。
13	Ⅱ-②-1	子育て支援の充実	市立幼稚園一時預かり(預かり保育)事業	保護者の多様な保育ニーズに対応するため、市立幼稚園の教育課程に係る教育時間終了後、また長期休業期間中に希望する園児を預かる「預かり保育」を実施する。
14	Ⅲ-①-3	暮らしの安全対策	一関市防災マップ更新事業	一関市防災マップを更新し、市内全世帯へ配布。併せて、ホームページ用データの改良を行う。